

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

平成26年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	14	305	14	306	0	1	福村 隆司
義方小学校	21	507	21	522	0	15	野村 洋文
啓成小学校	14	263	15	263	1	0	内田 正志
就将小学校	17	328	16	327	△1	△1	田中 由美
車尾小学校	21	574	22	546	1	△28	森田 栄
福生東小学校	18	429	20	477	2	48	景山 信子
福生西小学校	13	236	14	253	1	17	倉光 俊明
福米東小学校	22	594	22	586	0	△8	浦林 実
福米西小学校	22	575	21	576	△1	1	土江 良一
加茂小学校	22	587	23	572	1	△15	森 郁夫
河崎小学校	13	230	12	213	△1	△17	田中 豊昭
住吉小学校	29	725	29	699	0	△26	藤原 厚子
尚徳小学校	15	288	15	262	0	△26	倉光 信一郎
五千石小学校	8	140	9	147	1	7	森谷 哲郎
彦名小学校	13	237	13	231	0	△6	辻田 賢次
崎津小学校	11	201	10	179	△1	△22	川上 さつき
大篠津小学校	7	80	7	81	0	1	岸 利也
和田小学校	7	120	8	104	1	△16	上村 一也
弓ヶ浜小学校	20	500	20	497	0	△3	吉野 雅子
成実小学校	9	183	7	168	△2	△15	中尾 真
箕蚊屋小学校	13	354	15	352	2	△2	神庭 誠
伯仙小学校	17	386	16	374	△1	△12	竹崎 正寛
淀江小学校	19	475	21	513	2	38	安達 義昭
米子養護 (小学部)	2	2	2	2	0	0	青木 勉
合 計	367	8319	372	8250	5	△69	

イ 中学校

平成26年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	16	412	17	439	1	27	秋田 治
福生中学校	13	329	13	322	0	△7	本池 弘昭
福生中学校いづみ分校	2	6	4	11	2	5	本池 弘昭
福米中学校	19	519	20	549	1	30	栢木 隆志
湊山中学校	15	350	14	328	△1	△22	大東 治巧
後藤ヶ丘中学校	22	629	22	633	0	4	河本 隆弘
美保中学校	11	258	10	248	△1	△10	小林 千春
弓ヶ浜中学校	14	398	14	393	0	△5	岡崎 茂
尚徳中学校	13	330	12	321	△1	△9	黒見 博
加茂中学校	15	432	15	427	0	△5	山本 正史
淀江中学校	9	226	11	207	2	△19	小坂 靖夫
米子養護 (中学部)	4	16	3	11	△1	△5	青木 勉
合 計	153	3905	155	3889	2	△16	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	20	523	19	522	△1	△1	松本 修一

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 18校

臨時訪問校 35校

イ 知能検査、性格検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に性格検査実施

ウ 各種体育大会への助成

(ア) 小体連主催の合同体育大会を開催（6月）

全市5・6年生参加（どらドラパーク米子陸上競技場）

(イ) 小体連主催の水泳大会（米子市）に選手派遣

(ウ) 小体連主催の陸上大会（鳥取市）に選手派遣

(エ) 中学校対外競技、並びに文化活動における全国・中国大会出場に対する助成

(3) 研修関係

ア 教員の派遣研修

(ア) 小・中・特別支援学校管理職研修会（8月）

(イ) 小・中・特別支援学校教頭研修（5、6、7、8、11月）

(ウ) 小・中・特別支援学校教務主任研修会（小：5月、12月 中・特別支援学校：7月、12月）

(エ) 特別支援教育研修会（3月）

(オ) いじめ未然防止に関する研修会（1月）

(カ) リスクマネジメントに関する研修会（11月）

(キ) 教師力向上に関する研修会（10月）

(ク) 学校経営に関する研修会（12月）

(ケ) 情報モラルに関する研修会（11月）

(4) 障がい児の就学指導

ア 障がい児の就学指導

米子市就学指導委員会を8月、11月、12月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

イ 校外職業指導

中学校特別支援学級第3学年を対象に、職業実習協力事業所で2週間にわたり職業実習を実施した。

ウ 小学校特別支援学級体育大会（小学校5月）

エ 特別支援学級合同宿泊訓練（小学校10月）

(5) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の自立支援教室において、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。

(6) 学校評議員制設置事業

地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等から学校評議員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) にこにこサポート支援事業

小・中学校 15 校に学校支援員を配置し、個別の支援が必要な児童に対して学習上の困難の改善や克服に適切な指導を行った。

(8) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー3名を配置し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(9) 総合教育支援センター事業

明道公民館 3 階に通級指導教室とまなびの支援室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行なった。

(10) 心の教室相談員設置事業

中学校の生徒が抱えている悩みやストレス等を軽減するために、気軽に話すことができる相談員を 9 校に配置した。

(11) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1・2年生は1学級30人、3年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（13校19人）に要する人件費の一部として3,800万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(12) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（8校17人）に要する人件費の一部として3,400万円を鳥取県に寄付した。（加配教員1人当たり200万円）

(13) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校・特別支援学校の巡回英語指導を実施した。

(14) 要保護・準要保護児童生徒扶助費支給状況

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、学用品費、修学旅行費の一部、医療費及び給食費の一部を支給し、要保護児童生徒の保護者には、修学旅行費及び医療費を支給した。

区 分	対象延べ人員		支給金額（単位：円）
	要保護	準要保護	
小 学 校	92	1,538	87,906,327
中 学 校	61	846	30,636,399
合 計	153	2,384	118,542,726

(15) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	8	8	0	8
中学校	2	2	0	2
特別支援学校	0	0	0	0
合 計	10	10	0	10

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第1学年	1,415	1,414	24
	第4学年	1,413	1,407	33
中学校		1,286	1,277	15
特別支援学校		3	3	0
合 計		4,117	4,101	72

ウ 寄生虫卵検査

小学校第1・2・3学年を対象として、セロテープ法（ぎょう虫）による検査を実施した。

区 分	第1・2・3学年		
	対象者数	受検者数	陽性者数
小学校	4,057	4,055	1
特別支援学校	0	0	0
合 計	4,057	4,055	1

エ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	8,251	8,241	46	2	90
中学校	3,879	3,832	110	1	104
特別支援学校	13	13	0	0	0
合 計	12,143	12,086	156	3	194

(16) 教職員定期健康診断

ア 結核健康診断

全教職員を対象として胸部エックス線撮影を実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数		精検受検者数	
小学校	572	556	(181)	5	(1)
中学校	307	299	(101)	3	(0)
特別支援学校	16	15	(3)	0	(0)
合 計	895	870	(285)	8	(1)

イ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線100ミリ間接撮影（7枚撮り）を実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数		有所見者数	
小学校	369	357	(166)	35	(28)
中学校	178	172	(96)	21	(17)
特別支援学校	9	9	(6)	2	(1)
合 計	556	538	(268)	58	(46)

ウ 総合検診

全教職員を対象として実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数	
小学校	572	567	(179)
中学校	308	303	(106)
特別支援学校	16	16	(3)
合 計	896	886	(288)

(17) 学校災害共済加入状況

ア 日本スポーツ振興センター災害共済

区 分	対象者数	加入者数	発生件数	受給件数
小学校	8,250	8,246	606	875
中学校	3,878	3,877	530	838
特別支援学校	13	13	0	0
合 計	12,141	12,136	1,136	1,713

(18) 通学費助成及びスクールバス運行事業

(※ 小学校統合時（S46）に、遠隔地となる児童生徒の通学の負担を軽減する目的で通学費の補助又はスクールバスを運行し、保護者の負担を軽減する事業。合併協定により実施している。)

ア 通学費助成事業

淀江小学校に通う佐陀地区在住の小学生（1年～3年生）及び淀江中学校に通う本宮地区在住の中学生の保護者に対して通学用バス定期代の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。

区 分	対象児童（生徒）数	支給金額（単位：円）
小学校	88	1,220,805
中学校	1	26,673
合 計	89	1,247,478

イ スクールバス運行事業

淀江小学校に通う本宮地区在住の小学生（1年～6年生）・宝ヶ瀬地区在住の小学生（1年～3年生）を対象にスクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図った。